

看護工学 課題(ニーズ)発表会

- 看護現場の課題(ニーズ)と企業が有する技術のマッチング を目指して -

「うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」と「次世代医療システム産業化フォーラム」の共催で、「看護工学 課題(ニーズ)発表会」を開催いたします。

本発表会は、うめきた2期地区におけるイノベーション創出拠点の形成を推進するにあたり、その先行的取り組みの一環として、看護工学分野を取り上げ、看護現場の課題(ニーズ)と企業とのマッチングを促進し、それら課題(ニーズ)解決と新製品・サービスの創出を企図するものです。

看護分野における新たな製品・サービスの創出には、許認可を伴わない案件が多いなど、参入障壁が比較的 low、大企業のみならず中堅中小企業やベンチャー企業の参入も見込まれることから、うめきた2期が掲げる“ライフデザイン・イノベーション”の有望分野として発展することが期待されます。

このため、本発表会では、課題(ニーズ)を発表し、これに対して企業から解決策(製品開発等)をご提案いただき、そのご提案を審査した上で、新製品開発のチーム組成と開発に結び付けていきます。

<参加されるメリット>

- 発表される課題(ニーズ)は、「うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」が設置している「看護工学プロジェクト委員会」の専門家によって選別され、精査されたものです。
- 委員会委員、課題(ニーズ)発表者からの助言・指導を得られるため、実効性の高い開発を進められます。
- 看護工学プロジェクト委員会、大阪府看護協会、大阪大学等の指導を得て開発した成果であることをアピールできる可能性があります。
- 大阪府看護協会の看護師等5万名以上の会員に、開発した製品・サービスをPRできます。

日 時	平成30年3月9日(金) 14:00~17:00
場 所	大阪イノベーションハブ(OIH)プレゼンテーションルーム (グランフロント大阪 タワーC 7階)
対 象	看護工学分野の製品開発を目指す企業、産業支援コーディネータ
定 員	100名(事前申込・先着順)
参 加 費	無料
共 催	うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会 次世代医療システム産業化フォーラム
後 援	看護理工学会(予定)
申 込 締 切	平成30年3月7日(水) ※参加申し込み方法は、最終面をご覧ください。
お 問 合 せ 先	(一財)大阪科学技術センター イノベーション推進室内 うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会事務局 TEL:06-6131-4746 (土日祝除く 午前9時~午後5時)

看護工学 課題(ニーズ)発表会 プログラム

14:00	開会
14:00～ 14:05	あいさつ 看護工学プロジェクト委員会 委員長 高橋弘枝（(公社)大阪府看護協会 会長）
14:05～ 14:30	看護工学の概要と事例紹介 看護工学プロジェクト委員会 副委員長 山田憲嗣（大阪大学大学院 医学系研究科 特任教授） 看護工学プロジェクト委員会 委員 大石 努（関西医科大学附属病院 看護部 管理師長）
14:30～ 16:00	看護工学課題(ニーズ)発表 ※ 看護職から5件の課題(ニーズ)を発表 ※ 発表10分、質疑5分
16:00～ 16:15	提案方法・今後の進め方説明 うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会 事務局
16:15	閉会

14:45～ 17:00	個別相談会 ※ 発表会と並行して開催 ※ 発表内容ごとに、別途設けるブースで個別相談 ※ 相談時間は一人当たり10分 ※ 事前予約制（当日、時間の余裕があれば随時相談受付）
-----------------	--

看護工学 課題(ニーズ)発表会

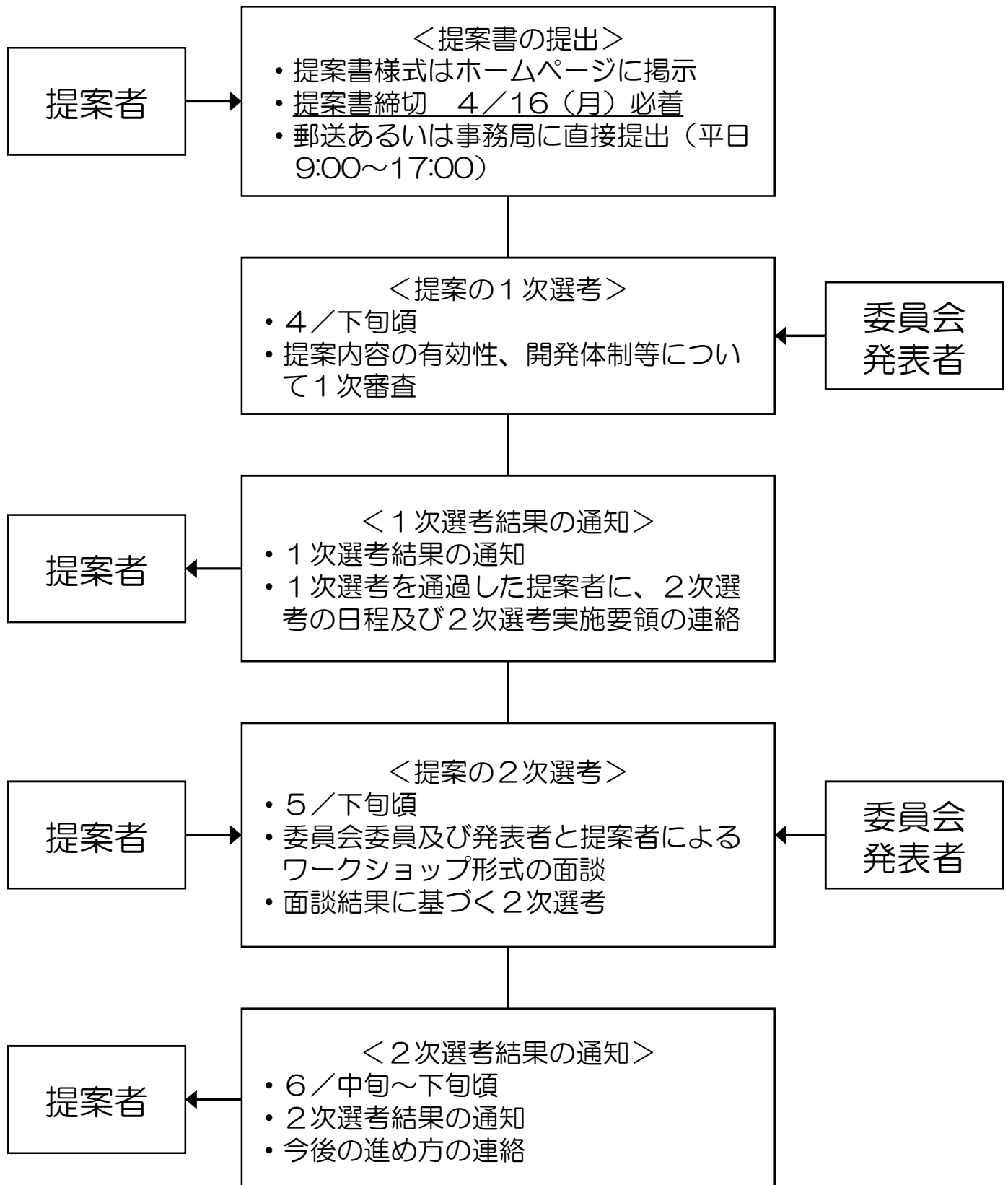
発表内容 (予定)

看護職が下記の内容を発表します。
今回は、訪問・在宅看護、妊婦QOLの分野を取り上げます。

【番号】 1-1	【名称】 嚥下機能評価
【概要】 嚥下（えんげ：食べものや飲みものを飲み込むこと）に問題があり、食べものや飲みものが誤って気管に入ってしまうと、「誤嚥（ごえん）性肺炎」になってしまうことがある。高齢者にとって、誤嚥性肺炎は、命の危険につながりかねない危険な病気である。 本発表では、在宅看護の現場において、患者さんが普段飲食をする状態の姿勢で、訪問看護師が使用する嚥下機能を評価するニーズを紹介し、その解決策の提案を期待する。	
【番号】 1-2	【名称】 訪問看護における移動の快適化
【概要】 在宅医療が推進されるなか、在宅で看護を受けたいという要望が増えてきており、訪問看護のニーズが高まっている。訪問看護師を派遣する訪問看護ステーションは、現在7000カ所を超えている。しかし、訪問看護師が足りていないのが現状である。その理由の一つとして、訪問する際の交通手段や天候などの要因が大きく関与しており、移動の快適化が課題となっている。 本発表では、次のニーズを紹介し、その解決策の提案を期待する。 ＜訪問看護師の移動の快適化（1）：雨天への対応＞ 多くの訪問看護師は自転車移動する。雨天の際は、カッパなどを使用するが、訪問先ではカッパを掛けるところがない、着替えるところがないなどの問題がある。 ＜訪問看護師の移動の快適化（2）：紫外線（UV）への対応＞ 自転車移動の際には、看護師の紫外線対策が求められるが、訪問看護では、手洗いを頻回に行い手指消毒剤を使用するため、化粧品などのUV対策をとることが難しいなどの問題がある。	
【番号】 1-3	【名称】 妊婦が使用する弾性ソックスもしくは補助具
【概要】 妊娠中は、足のむくみに悩まされる人が少なくない。また、日に日にお腹が大きくなり、出産前には初期のころからは考えられないほど大きな状態になる。このため、妊婦本人が、むくみ解消の弾性ソックスやタイツをはいたり脱いだりすることが難しくなる。 本発表では、妊婦が使用する弾性ソックスや補助具に関するニーズを紹介し、その解決策の提案を期待する。	
【番号】 1-4	【名称】 胎児心拍陣痛図（CTG）のデバイス部簡素化
【概要】 妊娠後期になると赤ちゃんの心拍数と陣痛を計るため、妊婦の腰部にCTG（Cardio TocoGram:胎児心拍陣痛図）という装置を装着することがある。受診部をベルトなどで固定し、有線でシステムにつながることが多く、長時間にわたる分娩中の産婦の拘束感が強く測定が難しい場合がある。 本発表では、CTGの受診部デバイスの簡素化のニーズを紹介し、その解決策の提案を期待する。	
【番号】 1-5	【名称】 妊娠からはじめる姿勢の可視化（腰痛対策）
【概要】 妊娠が進むに従い、腹部の増大やホルモンの変化による関節や靭帯のゆるみにより、正しい姿勢の保持が難しくなり、腰痛の原因となる。また、産後の女性のQOLに影響する。 本発表では、腰痛対策となる姿勢の可視化に関するニーズを紹介し、その解決策の提案を期待する。	

看護工学 課題(ニーズ)発表会

提案から選定までの流れ



看護工学 課題(ニーズ)発表会

参加申込

うめきた2期協議会の
ホームページからの
申 込 込 み

協議会ホームページ（<http://umekita2nd.jp/>）からお申込み下さい。

※お申し込みをいただきましたアドレス宛に参加確認メールをお送りします。
当日は、そのメールをプリントアウトしていただき、受付でお渡し下さい。

FAXでの申し込み

- 会社・機関名、部署名、役職名、氏名、連絡先（TEL・e-mail）を記入し、下記のFAX番号にお送り下さい。
- また、個別相談をご希望の方は、ご希望の発表内容に○印を記入して下さい。相談時間の指定はできません。事務局が相談時間を決めて、後日ご連絡申し上げます。

※お送りいただいたFAX用紙を当日、受付でお渡し下さい。
※発表会の聴講及び個別相談ともに、お申し込みが定員を超過し、ご参加いただけない場合はご連絡いたします。

個人情報の取り扱い

記入いただいた個人情報は、本発表会に関する申込みの受付、ご連絡及び当協議会に関連する講演会等のご案内に使用させていただくほか、共催団体及び当協議会構成団体に提供する場合があります。

看護工学 課題(ニーズ)発表会 参加申込書

FAX：06-6131-4754

ご希望のものに○印を記入して下さい。→

会社・機関名		
部署名		
役職		
(ふりがな) 氏名	()	
連絡先	TEL	
	e-mail	

発表会聴講	
個別相談	
番号1-1	
番号1-2	
番号1-3	
番号1-4	
番号1-5	
番号1-6	